

令和５年度 秦野市食育推進委員会（書面会議）における意見等への回答書

資料１：秦野市食育推進委員会
書面会議（趣旨説明）
資料２：取組状況一覧表
資料３：目標値の達成状況表
参考資料１：食育通信 17 号

別紙

委員名	質問・意見等	回答及びご意見に対する考え方
小澤 委員	資料３【目標値の達成状況表】 ・長引くコロナ禍でも、内容を変えるなどし、事業を進めてきたことは評価できます。中間評価の内容も適正と思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。
小澤 委員	資料３【目標値の達成状況表】基本目標 1－(1)「朝食欠食の割合」 ・朝食欠食の割合が小学生で増えた、栄養バランスを揃えた食事をする人の割合の減少、安全性を意識して購入する人の割合の減少の３点は、食育の基本となることで、目標から遠ざかってしまったことが残念です。できるだけ早い時期に要因の洗い出しと対策を考えていただけたら良いと思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取り組みに反映させていただきます。
小澤 委員	資料３【目標値の達成状況表】基本目標 3－(1)「給食食材における秦野産野菜の使用割合」 ・給食食材における秦野産野菜の使用割合実績値が小学校給食だけの時は 37.2％でしたが、小学校が減少した原因が、中学校給食が始まり、従来の小学校に供給されていたものが、中学校に供給されたとしたら、ともに 50％の目標値は高いように思います。生産者と、献立作成者の努力に期待します。	【学校教育課】 ・給食食材における秦野産野菜の使用割合は、「秦野市総合計画（はだの 2030 プラン）」や秦野市都市農業振興計画の目標値でもあり、中学校給食開始前の令和 3 年 3 月に策定したものです。現在は小学校の地場産率を回復するべく調達方法の検討や農業者及び商業者との意見交換を行うなど、50％の目標達成に取り組んでいます。
小澤 委員	資料３【目標値の達成状況表】基本目標 3－(2)「学校給食の残食率」 ・中学校給食で残食が増えたことは、様々な要因が考えられます	【学校教育課】 ・小学校は自校式、中学校はセンター方式というように、給食の提供方式や食缶（給食を入れる入れ物）、設

	が、給食を作る側より、食べる側の姿勢の表れのように思います。給食の意義を考えていけたら良いと思います。小学校で給食を経験しているので、給食の形式に問題があるならば、改善を望みます。	備の違いによるメニュー内容の違いなど様々に異なる点がありますが、教室で食缶からひとりずつ取り分けるという形式は共通しています。また、中学校給食の残食率については、中学生は体格や運動量等により、必要な栄養量の個人差が大きい現状です。そのため、定期的に行っている中学校給食担当者会議等で、思春期や成長期という生徒の特性を把握した給食についての情報交換を引き続き行うほか、給食だよりや講演会等の食育の機会を通じて生徒にも必要な食事摂取の基準量について発信し、生徒にも意識してもらえるよう取り組んでいます。
小澤委員	【参考資料 1「食育通信 17 号」について】 ・食育通信は、タイムリーな内容を掲載していて、とても参考になります。多くの市民の目に触れると良いと思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。
山岸委員	資料 2 【基本目標 3－(2)】 ・環境に配慮した食育の推進の⑥で、優良農産物登録認証制度とあるが、シールがわかりにくいと感じます。	【農業振興課】 ・優良農産物登録認証制度は、平成 24 年度から実施し、元大学講師、市場関係者等で構成される「地産地消推進部会」から、高い評価を得た農家を認証する制度で、現在は、日本なし、ぶどう、ブルーベリー、キウイフルーツ、ブルーベリージャムが認証されており、出荷時にシールが添付されています。 ・シールについては、令和 5 年度にデザインの見直しを実施し、市民や消費者への更なる普及啓発を行っていきます。

秋山 委員	資料３【目標値の達成状況表】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策中の目標達成のご努力を高く評価します。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。
秋山 委員	【その他の御意見】 ・昨今の食材や光熱費及び人件費の値上がりが、学校給食等に与える悪影響に対し、懸念を抱いております。この点を調査し、ご報告くださればありがたいです。	【学校教育課】 ・ご指摘の通り、ウクライナ情勢などの影響で食材料費が高騰していますが、今年度は保護者の負担軽減のため給食費の値上げは行っておらず、国からの交付金を活用して10.8%の補填を行っています。この補填額と保護者からいただく給食費の金額内に収まるように献立作成などで工夫して対応しており現在のところ食材購入に不足は生じておりません。なお、光熱水費や人件費も高騰しておりますが、保護者が負担している給食費は食材料費のみであるため、市がその影響考慮して予算において対応している状況です。今後も物価高騰の動向を注視し、必要に応じて対応していきます。
石川 委員	資料２【取組状況一覧表】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策として始めた動画や、児童向けの視覚媒体など、新しい生活様式に合わせた取り組みが有効活用され、また、Ｒ３年度まで中止されていた体験型の取り組みが再開されてきているなど感じました。 ・全体的に目標値よりも実績値は低いですが、前年よりは実績が上がっている傾向がうかがえ、年代別やライフステージ別の対策が推進されていると感じます。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。前年度よりも実績値が伸びている食育施策が多く見られ丁寧な取り組みがなされてきています。

石川 委員	資料 2【取組状況一覧表】基本目標 3-(1)①秦野優良農産物等登録認定制度の充実 ・食の安心安全について、基本目標 3-(1) ①、(2)－⑥秦野優良農産物等登録認証制度については、基本目標 1-(3) 食の安全に対する理解の促進に加えてもよいのではないのでしょうか。	【農業振興課】 ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。
石川 委員	資料 2【取組状況一覧表】、基本目標 2-(2)③家庭における食農体験の推進、⑥観光農業など体験型農業の推進 ・体験型農業の参加区画が大幅に減少している理由がありましたら、教えてください。	【農業振興課】 ・新型コロナウイルス拡大防止による自粛を受け、市内外からの参加者が減少したことや、区画の見直しを行った結果、減少したことが大きな要因となっております。 今後も新たな生活様式への対応等も含め体験型農業の受け入れ態勢の充実や、効果的なPRによる農業者と市民との交流を推進します。
石川 委員	【参考資料 1「食育通信 17 号」】 ・内容はとても良いと思うのですが、字が多いと読むのが大変です。図や写真を多く入れる、ナッジを活用する等、さらに多くの方に読んでもらえるのではないかと思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。今後も、読みやすく多くの方々に親しまれる食育通信を心がけていきます。
平野 委員	資料 3【目標値の達成状況表】 ・全体的な中間評価について、それぞれの項目で目標値に近づくものや前年度より改善する項目が多く、また、そうでない項目でも問題点の抽出もできていることから、妥当な評価と考えます。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。

平野 委員	資料 2 【取組状況一覧表】、基本目標 1- (2) ⑧良く噛んで味わって食べることの啓発活動の推進 ・この施策の評価をみると、ほとんどの項目で実績値が上向いている。目標値に向けて更なる啓発が必要と考える。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、評価の参考とさせていただきます。子どもから高齢者まで、よく噛んで味わって食べることの啓発活動をさらに進めていきます。
平野 委員	資料 2 【取組状況一覧表】基本目標 1-(1)「朝食欠食の割合」 ・基本目標 1 の朝食欠食の割合については、朝の歯みがき習慣と紐付けし、歯科的視点からの啓発も考えたい。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。歯科の知見からも、ご一緒に取り組んでいただけると幸いです。
平野 委員	【参考資料 1「食育通信 17 号」】 ・食育通信 17 号には、歯科に関する記事を掲載いただきありがとうございました。レイアウトや色づかいも見やすく、わかりやすい情報が多く盛り込まれていて、大変読みやすかったです。	【こども家庭支援課】 ・今後も身近な食に関する話題を、わかりやすく多くの方々に読んでいただけるよう、親しまれる食育通信を今後も作成していきます。
内藤 委員	資料 3 【目標値の達成状況表】基本目標 1— (1)「朝食欠食の割合」 ・朝食欠食において、Web アンケートで理由が記載されていますが、この回答は、親の回答であり、子どもの状況や思いを正確には反映していないと思われます。もし、食べたいけど食べられないなどの状況があるとしたら、以前から提案している現物支給を行っていただきたいと考えます（特に小学生）。	【こども家庭支援課】 ・今後の取組に向けての参考意見とさせていただきます。 子どもの状況を拾えるようアンケートの方法を検討していきます。状況に応じて、他市事例等を研究していきます。
内藤 委員	資料 3 【目標値の達成状況表】基本目標 3— (2)「学校給食の残食率」 ・中学給食の残食率については、悪化している結果です。配膳方法など集計が統一されていないことが要因のひとつの記載がありますが、これでは中間評価にならないと思います。	【学校教育課】 ・中学校給食開始から 2 年が経過しましたが、開始当初がコロナ禍であったこともあり、配膳方法やお代わりの仕方が統一できずにこのような残食につながっている面があると考えています。残食率が少ない学校の配膳方法を情報共有するなど、現場で工夫改善できるような取り組みを進めているほか、献立の見直しや

		生徒の意識を変えていくための食育を充実させるなど、残食率軽減への取組を進めています。
内藤委員	資料2【取組状況一覧表】 ・文面に、「継続して取り組み、引き続き・・・」との文言がありますが、評価で悪化している項目に関しては、今までとは違うアプローチで改善を図るべきと思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
内藤委員	資料3【目標値の達成状況表】 ・他の事業に関しては、概ね目標に近づいている中間評価なので、このまま継続していただければ良いと考えます。 色々と制約等があるとは思いますが、目標に向けて行政と各団体・市民の協働で改善していただきたいと思います。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の評価の参考とさせていただきます。引き続き、行政と各団体・市民との協働で、課題や対策に取り組み、プランを推進します。
田中委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標1「朝食欠食の割合」 ・朝食欠食の割合については、とても気になりました。食生活と生活リズムの関連性が高いので、こども園、保育園、小中学校でもこの情報を共有し、一貫した取り組みができると良いのかなと感じました。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。 今後も、子どもたちに身近な「食育キャラクターボンチーヌ」による早寝・早起き・朝ごはん運動を、こども園、保育園、小中学校と一貫して取り組んでいきます。
田中委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標2「中学校給食の残食率」 ・中学校給食に関する様々な課題については、中学校給食担当者会議等での情報交換をより密に行っていく必要があると思いました。そこで、現状がどのようなになっているか確認してみたいと思います。	【学校教育課】 ・年に1回開催されている中学校給食担当者会議等における協議や情報提供等を行ってまいりたいと思います。
有馬委員	資料1、【書面会議の趣旨説明】 ・今回は書面会議であったが、やはり対面での会議が望ましいと思	【こども家庭支援課】 新型コロナウイルス感染症拡大防止により参集自粛

	うので、次年度の開催を望みます。	の状況でしたが、今後は、状況に応じて対面会議の開催も考えていきます。
有馬委員	資料3【目標値の達成状況表】 ・全体への意見ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、参集の自粛もありその生活様式の変化の中で、食育動画の配信等、できることを丁寧に取り組まれてきたと感じた。	【こども家庭支援課】 ・いただいたご意見は、評価の参考とさせていただきます。今後も動画による配信も行っていきます。
有馬委員	資料3【目標値の達成状況表】 ・子どもを取り巻く保護者や成人への食育の普及は、広めることの難しさを感じた。反面、小学校現場は、給食を通じた毎日の食育の機会があるため、身近な食育キャラクターの活用等をさらに進め、取り組みを進めることができるとも感じた。	【こども家庭支援課】 ・今後の取り組みに向けての参考とさせていただきます。子どもたちに身近な「食育キャラクターボンチーヌ」による早寝・早起き・朝ごはん運動を、こども園、保育園、小中学校と一貫して取り組んでいきます。
有馬委員	【参考資料1「食育通信17号」】 ・食育通信など、大人への働きかけの機会は、今後もあってほしい。	【こども家庭支援課】 ・今後の取り組みに向けての参考とさせていただきます。食育通信を多くの市民に読んでいただけるよう、今後も発刊方法等を検討していきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標1ー(1)②認定こども園や学校、各事業等における「家庭における食育」の普及開発 ・家庭における食育の普及啓発の項目で、「栄養教諭が中心となって最新栄養情報等を発信することにより…」とありますが、これは給食だよりのことですか。ほかに発信しているものがありますか。	【教育指導課】 ・「給食だよりに」表記を統一させていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標1ー(1)②認定こども園や学校、各事業等における「家庭における食育」の普及啓発 ・学校における普及啓発の項目で、栄養教諭による啓発（給食だよ	【教育指導課】 「栄養教諭等」に表記を統一させていただきます。

	りの発行等)とありますが、栄養士も行っているので、栄養教諭等の表記が望ましいと思います。	
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1-(1)④食に関する指導の充実、実績値 ・早寝・早起き・朝ごはんの取り組み校からの実績報告のほう、まとを得ているように気がします。	【教育指導課】 ・いただいたご意見は、評価の参考とさせていただきます。そのままの記述とさせていただきます。 食育は、各授業の横断的な取組でもあるため、複数の施策の実績にも該当する事例が多い実情があります。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1-(1)④食に関する指導の充実 ・「小学校においては、日常的に給食の指導として、バランスよく食えることについて指導を行った」とありますが、誰が行ったのでしょうか。	【教育指導課】 ・担任の先生や、栄養教諭や栄養職員が行った給食時間の指導です。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1-(1)④食に関する指導の充実 ・「どうやってくるの？給食の食べもの」市内業者から学校への納品・仕入れの様子動画。動画の視点は、生産流通・感謝の心なので、事業目標の生活習慣の確立とはずれているのではないのでしょうか。④食に関する指導の充実にはあっていますが。	【教育指導課】 ・今後の評価の参考とさせていただきます、そのままの記述とさせていただきます。 食育は、横断的で複数の目標が該当する事例が多いのも実情です。この事例は、基本施策「食に関する指導の充実」として新たに取り組まれ、感謝の心を育みつつ、望ましい生活習慣の確立に向け行われた実績としてあげられているものです。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1-(1)④食に関する指導の充実 ・「関心を得ることができた」→理解を深めたなどの表現がよいと思います。	【教育指導課】 ・取組みを進める側として、そのままの記述とさせていただきます。

白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1－(1)食習慣の向上④食に関する指導の充実 ・「献立だより」→「給食だより」だと思います。	【教育指導課】 ・表記を「給食だより」に統一させていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1－(1)④食に関する指導の充実、課題及び今後の対策 ・「近年では、冷凍技術の進歩などから～低年齢化が進んでいる」とありますが、塩分等の摂り過ぎからの生活習慣病の理由は、冷凍技術の進歩であっていますか。日本食は、元々、塩分が多いですし、カップ麺や外食の影響はないでしょうか？	【教育指導課】 ・ご指摘のとおり、塩分の摂り過ぎや生活習慣病の増加の背景は、日本食の元々の塩分過多の傾向や、カップ麺等の喫食、外食、運動不足等の多岐に及びます。今回は、この施策の課題や今後の対策として、取り組む理由の一つとして挙げさせていただいた文章なので、そのままの表現とさせていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1－(2)⑥学校における食育の推進 ・食に関する指導の実施が 100%という目標は達成されていますが、目標値を回数としてもよいのではないのでしょうか。 小学校でも教科連携はあります。	【教育指導課】 ・令和4年度に指標変更したため、この目標値とさせていただきます。いただいた御意見は、取り組みの参考とさせていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標 1－(2)⑥学校における食育の推進】 ・「米の食べ比べにより、収穫した米と給食に出てくる米を比較するなど総合、社会、学活の教科において横断的な学びを実践することができた」とありますが、基本的な指導ではないと感じます。5年生は米を炊く練習はしますが、食べ比べではありません。	【教育指導課】 ・様々な御見解があると思いますが、前述の文章に、「食生活や睡眠などの基本的な生活習慣を形成するため、学級活動で学年ごとにテーマを決めて食に関する指導を行った」とあります。新たな取組事例として、さらに総合、社会、学活という授業での取り組みをあげたものです。子どもの探求心や好奇心から、食べる意欲を育て、「お米」に関する正しい知識と、「毎日、しっかりご飯を食べよう」という望ましい生活習慣の確立に向けた取組みとしてあげているものです。

白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2-(2)⑧良く噛んで味わって食べることの普及啓発 ・小学校給食では、「歯と口の健康週間」を意識し、噛む回数が増えるような食材、カルシウムを多く含む食材を献立に取り入れています。	【学校教育課】 ・いただいたご意見を、小学校給食での取組みとして追記させていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標1-(3)⑫給食における地場農産物の活用を図るため、学校関係者と生産者との交流を促進する ・小学校給食における地場農産物の導入の項目で、供給団体（農協）とありますが、令和3年、12月から中学校給食の開始に伴い、学校教育課と農協で協議し、小学校給食への参加は取りやめとなりました。青果店にも、地場産物を入れてもらうように協力してもらっています。	【学校教育課】 ・いただいたご意見は、今後の取組みに向けての参考とさせていただきます。
白土委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3-(1)評価指標「給食食材における秦野産野菜の使用割合」 ・基本目標3-(1)地産地消の推進、評価指標の目標値（令和7年度）「給食食材における秦野産野菜の使用割合」（小学校）50%と、学校給食における地場産物を使用する割合の目標値33%と表現が違う。ベースも、品目ベースなのか、金額ベースなのか表記してほしい。また、目標の根拠はあるのか、県・国の目標値と合致しているのか。 ・また、R7年度の50%は、実現可能な数値なのか。現状を良く把握したうえで考えてほしい。	【学校教育課】 ・ご指摘の給食食材における秦野産野菜を使用する割合の目標値33%は、令和3年度の目標値であり、令和7年度の目標値が50%になります。 ・目標の根拠は、現状として国、県によっても評価ベースが異なり、農水省の食育白書では、経済状況に地域差があるため、地域の実情に応じて（県単位で）、品目、金額、重量ベースかを選択し設定すべきとされています。 ・本市では、農水省が品目ベースで表記しているため、それに合わせて品目ベースを採用しています。 ・令和3年当時、関係者の御尽力により小学校給食の

		実績値が重量ベースで30%以上であったことや、国、県の学校給食で使用する地場農産物の割合の目標値が30%以上であったため令和3年度の目標値を33%と設定しました。令和7年度の目標値については、第3次プランの中学校給食も含めた新たな取り組みとして、産・学・民・官の連携により、給食食材に使用する秦野産野菜の割合として、品目ベースで目標値50%を設定しました。 ・「秦野市総合計画（はだの2030プラン）」や秦野市都市農業振興計画の目標値でもあり、今後もこの目標値に向けて取り組んでいきます。
白土委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3－(3)評価指標、⑫生産者の顔が見える食育の推進 ・ここに記述された秦野産農産物の供給団体は、特定の学校にしか納品がない。農協が小学校給食から撤退した今、秦野産農産物の供給団体がない学校は8校。青果店から地場産物が入ってくるが、入札の価格もあるためか地場産物の量は多くない。中学校給食は農協からの青果を納品しているので、割合は上がる。	【学校教育課】 ・ご指摘の通り、中学校給食は農協が中心となって使用する野菜の作付け調整を生産者に依頼するなどの対応があるため地場産率が高くなっています。小学校は地元の青果店からの納品であり、価格面から仕入れに左右されるため低めになっていますが、今後は地場産率向上も含めた小学校での食材調達方法の見直しを検討する予定です。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2－(1)①食育の日啓発活動の推進 ・食育の日ポスター掲示100%とありますが、どんなポスターなのか、学校は確認していません。	【学校教育課】 ・令和4年度については、教育指導課から、「毎月19日は食育の日」の啓発として、市内小・中学校へ配信されていました。

白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)①食育の日啓発活動の推進 ・「市立認定こども園では給食だより等を通じて、保護者へ食の情報を発信し家庭での食育の啓発を行った」とありますが、同様に学校でも行っています。	【教育指導課】 ・小・中学校についても取り組みを追記させていただきます。
白土委員	資料3【取組状況一覧表】基本目標2—(1)①食育の日啓発活動の推進 ・「のぼり旗の掲示や活用による各学校等への取り組みを支援し、引き続き市民への周知を行う」とありますが、どのような支援でしょうか。	【こども家庭支援課】 ・「毎月19日は食育の日」や「6月の食育月間」等の各小中学校での取組を支援するため、食育キャラクターボンチーヌの「早寝・早起き・朝ごはん」の食育のぼり旗や、ボンチーヌファイル等の啓発物品を配布しています。また、その取り組みを、食育通信等を通じ周知しています。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)②共食を通じたコミュニケーションの確保 ・「農作物の栽培、収穫体験を通し食への関心を高める」は、給食（共食）の施策と合わないのではないかと。⑦の和食や郷土料理の導入の促進に近いのではないのでしょうか。	【教育指導課】 ・各小学校で献立の工夫をしています。読書週間に合わせて、本の内容とリンクした献立を作ることによって読書と共に食物の関心が増した事例、季節にちなんだ行事食を献立に取り入れることで、伝統食に触れる機会が増し、児童から保護者へ献立にも関心が広まる事例等、食への関心が高まったコミュニケーションを意識した取組が見られます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)②共食を通じたコミュニケーションの確保 ・言葉の統一をしてほしい（小学生は児童、中学生は生徒等）。	【こども家庭支援課】 ・小学生は「児童」、中学生は「生徒」に表記を統一します。

白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)②共食を通じたコミュニケーションの確保 ・給食試食会を実施しとありますが、保護者対象の試食会を実施した小学校がありますか。幼稚園等の体験給食はあるかもしれないが。	【保育こども園課】 ・感染症対策を行いながら実施された、市立認定こども園における保護者への給食試食会です。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)②共食を通じたコミュニケーションの確保 ・体験給食等における異年齢児交流の促進と給食試食会における保護者等との交流の促進は、評価指標とあっていますか。	【保育こども園課】 ・基本施策②「給食（共食）を通じたコミュニケーションの促進」として取り組まれている事例です。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(3)⑦小・中学校の給食における郷土料理等の導入の促進 ・評価の欄に、「和食の日に合わせて～郷土料理を献立に取り入れる」とありますが、郷土料理ではなく、日本食の献立とし、だしを使った献立にしています。	【教育指導課】 ・いただいた御意見は、取組みの参考とさせていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(3)⑦給食における和食や郷土料理等の導入の促進 ・食農教育の一環として、郷土食や地域の伝統・手作りの味を伝承するとありますが、「献立のレシピを学校と家庭で共有～」とあり、レシピを紹介した小学校があるのでしょうか。	【教育指導課】 ・食育担当者会議でも報告された取組みであり、家庭へレシピ紹介をしています。
白土委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3—評価指標、「給食食材における秦野産野菜の使用割合」 ・目標は品目ベース、令和3年度は重量ベースの評価になっているようなので、明記するか、合わせてほしい。	【学校教育課】 ・ご指摘のとおり、令和3年度の評価は重量ベースでした。令和3年度までは重量ベースでしたが、献立に偏りが生じるため、令和4年度から農水省と同様品目ベースとしたものです。しかしこれまでの経過もあるため、重量ベースでも記録を残していきます。

白土 委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3—(1)②給食における地場産物の活用を図るため、学校給食関係者と生産者との交流を促進 ・実施したとあるが、一部の学校のみ再開しています。 実績値R3年度は、農協が小学校給食から撤退したときに、小中学校を合わせた平均を表記すると学校教育課から調整がありました。小学校から農協が撤退すれば、小学校の割合が低下するのはわかっていたことだと思います。	【学校教育課】 ・農協と秦野市では地場産率の向上に向けて協議を重ねてまいりました。小学校給食の地場野菜の納入については撤退したわけではなく、商業の活性化と農業の活性化をすみ分けたものです。低下したのではなく、すみ分けをしても20%を維持できていると考えています。
白土 委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3—(2)「中学校給食の残食率」 ・学校給食の残食率の評価項目で、中学校給食の残食率がR4年度14.6%となり、R3年度から9.8%から増加している。何か対応をしたほうが良いと感じる。	【学校教育課】 ・中学校給食はコロナ禍である令和3年12月に開始され、感染予防としておかわりの制限などがされていました。中学校給食の味付け等については、生徒たちにとってアンケート結果をもとに調整したり、週に1回学校現場に出向いて、直接生徒たちの声を拾い、献立作成に反映させています。また、調理員との反省会を行い、アドバイスももらいながら献立の改善に努めています。その他、定期的に市民向けの試食会を給食センターで実施しており、その際にも給食についての意見を聞いています。今後も、思春期の生徒たちの好みや特性に寄り添った味付け、料理の組み合わせ、盛り付け、食べやすさ等、献立に工夫をしていきます。また、給食だより等を通じて、部活動や勉学に適した食事の整え方や、必要な食事摂取の基準量についても発信していきます。

白土委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3—(2)⑦(再)幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の農業体験等の促進 ・SDGsの視点を入れていくのか。国は掲示している。	【こども家庭支援課】 ・第3次食育プランの本文P67に本プランとSDGsの関係を示し、各施策で持続可能な取り組みを進めてきています。ご参照ください。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標3—(3)⑧学校等における食に関する指導体制の充実 ・食育指導者養成研修があたるのではないのでしょうか。実践的な内容も行われましたが、基本的には、食育に関する施策や学習指導要領から食育に関わることを学び、実践に向けて具体的にするために行われた研修です。本来は、指導主事が受講すべきものと思いますが、秦野市では、R5年度までに、栄養教諭1名、栄養士2名が受講しました。	【教育指導課】 ・いただいた御意見は、取り組みの参考とさせていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標3—(3)⑧学校等における食に関する指導体制の充実 実施状況欄にある、1つ目の年2回開催とあるのは、食育担当者会議のことでしょうか。会の名前を明記していただいたほうがわかりやすいです。	【教育指導課】 ・食育担当者会議と表記します。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標3—(3) ・学校給食月間は、学校により実施月が異なり、11月～1月で実施されています。	【教育指導課】 ・11月～1月の学校給食週間と表記させていただきます。
白土委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標3—(2)⑧学校等における食に関する指導体制の充実 ・給食の残量の多さを課題として～とありますが、食育全般を扱い、R4年度は流通生産、感謝の心を育むことも意識して取り組まれています。事業目標の内容と合わないと感じます。	【教育指導課】 ・いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

森 委員	資料1【書面会議の趣旨説明】 ・今年度は、書面会議となっていましたが、関係各者が顔を合わせて話ができる良い機会でもあると思います。今後とも対面での運営を期待いたします。	【こども家庭支援課】 ・今後の取り組みの参考とさせていただきます。 コロナの自粛により参集の制限もありましたが、今後とも感染症予防を行いながら、対面会議の開催が可能と考えます。
森 委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標1：楽しく食べて健康なからだをつくりますー(1)評価指標「朝食欠食の割合」 ・気になる点として、小学生の朝食欠食の割合があげられます。朝食欠食は一番実践しやすい内容だと思います。	【こども家庭支援課】 ・今後の取り組みの参考とさせていただきます。 こども園・幼稚園、保育園、小中学校と連携し、身近な食育キャラクターボンチーヌの食育で、取り組みを進めます。
森 委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3ー(2) ・もう一つの気になる点は、学校給食の中学校の残食率です。中学校給食については、成長期の子どもの食べる量と、実際に作られている量について、検討が必要かもしれません。やせ願望の強い子どもが多い場合の対策など、やるべきことは多いと感じます。	【学校教育課】 ・学校給食の献立は、国が定めた学校給食摂取基準をもとに作成しており、成長期に必要な栄養素が摂取できるように考えてられています。そのため、食べきるべき量で各クラスの人数分を計算し、配缶しています。しかし、部活をやっている生徒とそうでない生徒では摂取量が異なり、個人差があります。中学校給食では食缶方式で配膳しており、各自調整できるようになっているため、自分が食べるべき量をしっかりと把握できるように情報発信を行うことや、学校現場へ出向いて働きかけを行ってまいります。また、やせ願望の強い生徒が多い場合の対応等についても検討し共有を図っていきます。
森 委員	参考資料1【食育通信17号】 ・食育通信について、防災対策の内容は、重要だと思います。いざ	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせ

	という時に、自分自身で対策ができるような食育が重要ですので、学校の調理実習の時に実践できれば、なお良いと考えます。公助に頼るのではなく、自助で対策できるように、若い皆さんが育つといいですね。	ていただきます。 若い世代の自助の防災意識を、食育を通じて育んでいけるよう働きかけていきます。
志村委員	資料1【書面会議の趣旨説明】 ・秦野市食育推進委員会規則に基づき、選ばれた委員が協議、検討する場とする趣旨説明が理解できました。	【こども家庭支援課】 ・今後も引き続きご検討をお願いいたします。
志村委員	資料2【取組状況一覧表】基本目標2—(1)②給食(共食)を通じたコミュニケーションの促進 ・小学校、中学校における農業体験活動の促進と、調理の実施項目は100%になっていますが、どのような内容を実施されているのでしょうか。	【教育指導課】 ・各校により実施内容に違いがありますが、お米、さつまいも、じゃがいも、とうもろこし、玉ねぎ、トマト、きゅうり等の栽培や収穫、調理の体験を実施しています。
志村委員	資料3【目標値の達成状況表】基本目標3-(2)中学校給食の残食率 ・中学校給食の残食率ですが、同僚の中学生の娘さんが、小学校の給食は喜んで食べていたのに、中学校の給食は残してばかりいるから、家での間食が増えたと言っていました。 専門家が考えられた献立ですが、生徒たちに寄り添った味付け等の検討はどうされていますか。	【学校教育課】 ・給食の味付け等については、生徒たちにとってアンケート結果をもとに調整したり、週に1回学校現場に出向いて、直接生徒たちの声を拾い、献立作成に反映させています。その他、定期的に市民向けの試食会を給食センターで実施しており、その際にも給食についての意見を聞いていますが、保護者からは温かくておいしいという意見を伺っています。献立については引き続き、生徒や先生方の意見を取り入れながら、改善に努めます。 今後も思春期の生徒たちの好みや特性に寄り添った味付け、料理の組み合わせ、盛り付け、食べやすさ等、献立や提供方法に工夫をしていきます。また、給食だ

		より等を通じて、生徒にも保護者の方々にも部活動や勉学に適した食事の整え方、必要な食事摂取の基準量についても発信し、楽しく食べて健康に、将来の自己実現に向け、より良い学校生活に寄与する給食を提供していきます。
志村 委員	参考資料 1 【食育通信 17 号】 ・食育通信を手にしたのは、私自身、この委員になってからはじめてです。自治会回覧等にもなっていたのでしょうか。	【こども家庭支援課】 ・いただいた御意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。自治会回覧は、より生活に密着した情報の提供のため、食育通信は、各家庭への配布は難しい現状です。 今後は、より多くの市民のみなさんに読んでいただけるよう、発刊方法や配布等を検討していきます。